

Title	ドイツ啓蒙主義研究(14) 目次
Author(s)	
Citation	ドイツ啓蒙主義研究. 2017, 14
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/62014
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ドイツ啓蒙主義研究14

目 次

ユング=シュティリングにおける信仰と創作 — 『ヨリンゲルとヨリンデの話』を手がかりに —	(長谷川	健一)	1
はじめに 1 信仰と創作のはざまで 2 『ヨリンゲルとヨリンデの話』から KHM69『ヨリンデとヨ 3 執筆の動機と「ロマン的な花模様の衣装」 4 「飾り」としての『ヨリンゲルとヨリンデの話』 5 「飾り」をめぐる葛藤 おわりに	リンゲル』へ		
徳の教育 — Ch・F・ゲラート『スウェーデンの G 伯爵	夫人の生涯』 — (廣川	智貴)	21
はじめに			
1 梗概			
2『道徳講義』			
3 揺れる愛			
4 感情を抑えられない恋人たち 5 人間愛			
5 人間愛 6 冷静と絶望のあいだ			
7 「死」の教え			
8 徳育のための小説			
おわりに			
18世紀の自死をめぐる言説の再検討 I	(吉田 耕	 太郎)	41
1 はじめにーウェルテル現象			
2 印刷メディアのなかの自死			
3 自死の意味付けの変化			
4 病としての自死			
J.E.シュレーゲル、ゴットシェートが接した「ソフォクレー 受容の2つの局面から考える詩学史の物語論的再解	-	田 覚)	55
1 翻訳によるソフォクレスの受容			
2 J.E.シュレーゲルの『エレクトラ』翻訳の時期をめぐっ	って		
3 ゴットシェートの『オイディプス王』解釈をめぐって	•		